

ログファイルの出力方法

Virbelaが正常に動作しない場合、確認のためログファイルの提出をお願いすることがあります。その際、クラッシュ発生前の直近のタイムスタンプを含む「player.log」を取得する必要があります。以下 [Windows](#) または [Mac](#) での操作方法をご確認ください。

Windows

ファイルは下記に保存されています。

C:\Users**"YourUserName"**\AppData\LocalLow\Virbela LLC**"YourCampusName"**\player.log

注意：

"YourUserName" は、Windowsにログインするための固有のアカウント名を指します。

"YourUserName" は、このアカウント名に置き換える必要があります。

例えば、アカウント名が**JohnSmith**の場合、以下ようになります。

C:\Users**JohnSmith**\AppData\LocalLow\Virbela LLC**"YourCampusName"**\player.log

注意：

"YourCampusName "は、使用しているキャンパス名に置き換えてください。

例えば、Virbela Open Campusの場合は、下記ようになります。

C:\Users**"YourUserName"**\AppData\LocalLow\Virbela LLC**Virbela Open Campus**\player.log

最新の「player.log」ファイルを収集し、一緒に作業している技術者に送るか、問題の説明とともに help@virbela.com までお送りください。どの「player.log」ファイルを送ればいいか分からない場合は、フォルダごとお送りいただいてもかまいません。当社の技術者がサポート致します。

まず「Windowsキー＋R」を押して、「ファイル名を指定して実行」のウィンドウを表示させます。Windows8以降を使用している場合は「ファイル名を指定して実行」で検索するか、スタートボタンを右クリックして「ファイル名を指定して実行」を選択することもできます。Windowsが開いたら「%appdata%/../LocalLow」と入力し、Enterキーを押します。

<画像>

ここから、問題が発生しているワールドの名前を持つフォルダを開きます。以下の例では、Virbela Open Campusを使用していますが、カスタムワールドに問題がある場合は、Virbelaを開くために使用するショートカットに記載されている名前と同じものになります。

<画像>

「player.log」ファイルを収集し、一緒に作業している技術者に送るか、発生している問題の説明とともにファイルを添付して help@virbela.com にお送りください。

注意:

「Virbela, LLC」ではなく「Virbela LLC」を開いて下さい。

「Virbela, LLC」には必要なログが含まれていません。

Mac

「Command+Shift+G」を押して、「フォルダへ移動」を開いてください。また、Finderのメニューバーから「移動」をクリックし、「フォルダへ移動」までスクロールしてクリックすることもできます。

<画像>

「フォルダへ移動」ウィンドウが開いたら、下記の通り入力してください。

「~/Library/Logs/Virbela LLC/"**YourCampusName**"」

注意:

"**YourCampusName**"は、使用するキャンパス名に置き換えてください。

例えば、**Virbela Open Campus**の場合は、下記ようになります。

~/Library/Logs/Virbela LLC/**Virbela Open Campus**/

<画像>

このフォルダの「Player.log」ファイルを添付し、一緒に作業している技術者に送るか、新規メールに添付し問題の説明を添えて help@virbela.com にお送りください。